

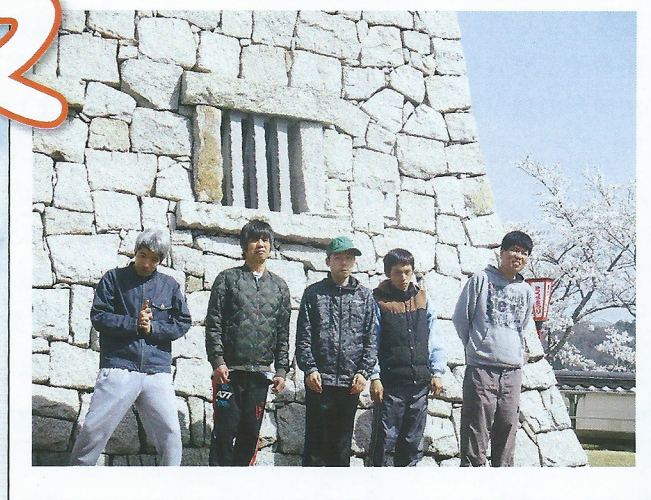
今年は桜の開花が早く、3月の末に美作市周辺へのお花見やいちご狩りを計画しました。



ぽぽれの友

35

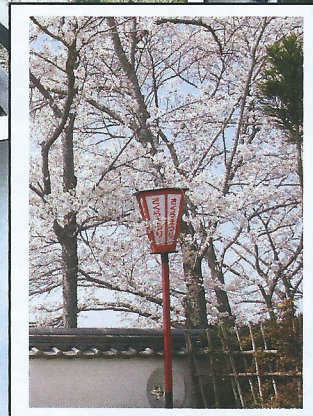
2018.07.01 発行



美作農園にて食いちご狩りを堪能しました。



茶臼山城趾の展望台から見える桜を楽しみ、皆で談笑をしながら公園でお弁当を食べました。



ごあいさつ

サービス管理責任者 奇峰安博

事務長代理 黒原千晶

平素より当施設の運営に於きまして温かいご支援とご協力を賜り、心から御礼と感謝申し上げます。

4月1日より障害福祉サービス等報酬改定がありました。新たなサービス内容も盛り込まれており、よりサービスの質が問われるように感じます。利用者の方が満足して頂けるようサービスの質の向上を目標に掲げ、この1年進めてまいりたいと思います。

今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

この度、事務長代理を務めることとなりました、黒原です。日頃より、ご家族や地域の皆さまに暖かいご支援とご協力を賜り、心よりお礼と感謝を申し上げます。

利用者の皆様が安心して心地良い暮らしが実感できますよう、自身の役割をしっかりと見据えながら、業務に携わっていきたいと考えております。

今後とも、ご指導・ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

職員の抱負

施設とともに過ごした時間

ばればれに勤めて10年目になります角原光貴と申します。まずこのような文章を書くにあたり「もう10年も経つのか」と思いました。23歳の時に就職し、もう33歳になりました。ふと仕事をしている時に、時間の流れは利用者やご家族も同じなんだと感じ、そう思うと、お互いに何かの縁があってばればれにいるのかなと思いました。「利用者との縁」・「家族との縁」・「上司や職員同士との縁」等があり、この年齢になった今だからこそ「感謝」の気持ちを文章に残そうと思います。今後とも、ばればれに携わる皆様が「ばればれで良かった」と思えるような施設になりますように、より一層努力して行きたいと思っています。

(生活支援員 角原光貴)

クラブ活動

平成30年度のクラブ活動は、園芸クラブ、わくわくクラブ、マラソンクラブ、そして本年度より新設されたレクリエーションクラブを加えた4つです。今回は、『レクリエーションクラブ』を紹介したいと思います。このクラブは昨年の乗馬クラブと音楽クラブを合わせる形で誕生しました。主な活動は、馬との触れ合いや、好きな歌を大声で歌い、体全身を使って踊るリズム遊びです。このリズム遊びは、家族会有志のご協力をいただきながら、一昨年から続けている活動でもあります。

(本場マネージャー 土山英彦)

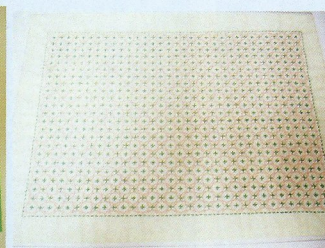
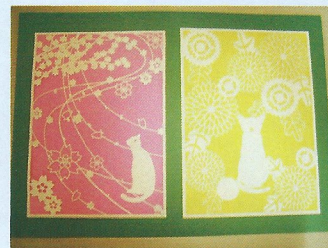
カエルの歌が♪



表町分場

4月はスタートの時期です。分場でも、新しい利用者が加わり、にぎやかになりました。新しい試みとしてお花見を行いました。今年は開花が早く、後楽園の桜が散っているかと心配しましたが、花吹雪のもとでお花見をすることができました。

(生活支援員 永田晃)



(利用者の作品)

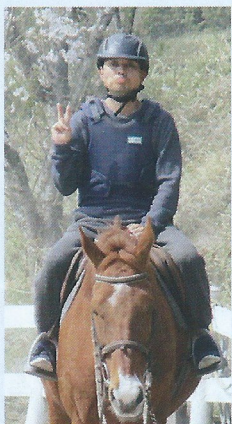


乗馬療育



乗馬療育は動物介在療法の中で最も古い歴史を持ち、その効果は身体面・心理面・社会面に現れると考えられています。馬は歩行中に前後左右・上下に揺れ、そして騎乗者の予想外の動きをします。その動きは脳を刺激して姿勢や歩行の改善、バランスの強化、筋緊張の緩和などの効果をもたらします。心理面では意欲や自信の向上、集中力の改善があげられます。また、馬に身を任せることで身体を通じて信頼関係を築くことを学びます。乗馬ができなくても触ったり世話をしたりと、馬とコミュニケーションすることで共感や思いやりが育まれます。障害の種類や程度により効果は様々ですが、楽しんで行えることが重要だと言われています。

(乗馬療育委員 植月悠乃)

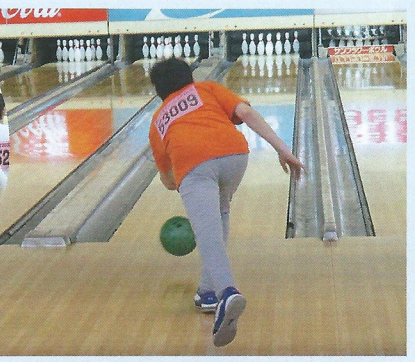
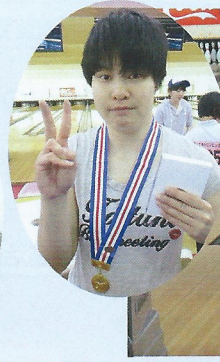


障害者スポーツ大会



5月27日にサンフラワーボウルでボウリング大会がありました。参加された利用者の方は、それぞれ楽しめたようで大会が終わった後、とても良い表情をされていました。結果は金メダル1つと銅メダル1つとなりました。惜しくもメダルが取れなかった方も来年はメダルをと意気込まれていたのが印象的でした。それぞれに良い経験でした。

(生活支援員 永井健太)



4月28日に岡山ドームで開催されたフライングディスク大会に参加しました。ディスクのコントロールの正確さを競うアキュラシーでは銀メダル1つ、飛距離を競うディスタンスでは金メダルを1つ獲得しました。お互いに応援し合う等、充実したスポーツ大会となりました。



新入職員のあいさつ



2月より、ばればれの総務に入りました笠井智子と申します。施設という場所で、働くのは初めてで分からないことや戸惑いも多々ありますが、日々勉強で頑張りたいと思います。よろしくお願いいたします。



3月7日からお世話になっている佐藤歩美と申します。前職は、水島の障害者施設で働いていました。至らない点がある事と思いますが、よろしくお願いします。



4月からお世話になっております、西山享佳です。初めてのことが多く不安もありますが、周りの方々に教えていただきながら、少しずつ仕事を覚えていきたいと思っています。精一杯頑張ります。



4月よりお世話になっております、延堂由紀です。利用者の皆さんと笑顔で過ごす時間が日々の活力となっています。日々学び、日々成長、心に寄り添える温かな支援員を目指します。どうぞ、よろしくお願い致します。

健康通信



歯の健康(歯周病)について

歯周病とは字の通り「歯の周りの病気」のことをいいます。歯を支える歯肉や歯槽骨の組織をじわじわと破壊する歯周病は、今では生活習慣病ともいわれ、成人の歯の抜ける原因の多くはその歯周病であるといわれています。

ご家族の中にも、歯の健康については、体の健康と同様に気にされている方が多いのではないかと思います。

歯周病の原因となるのは歯石と歯垢です。それを予防するには毎日の正しいブラッシングしかありません。毎食後利用者全員に職員による仕上げ磨きを実施していますが、利用者の方の状況により完全とは言い切れないところもあります。そこで今年度も、より正しいブラッシングを行なうための、職員のブラッシング講習を5月に実施しています。又、週に1度は普段磨き切れないところのブラッシングタイムも設けています。

利用者の方に少しでも楽しく食事をしていただくために、歯磨きはもちろん、適宜歯科での治療も行ないつつ、健康な歯を1本でも保てるよう、職員と協力しながらより丁寧な口腔ケアを心がけていきたいと考えています。

(看護師 久森正子)

栄養通信

旬の食材の優しさ

その年に初めてできた作物や果物を『初物』といい縁起ものとされ、日本食では初物をいただくことに趣があります。日本には四季があり、旬の食材が出始めると、季節の移り変わりを感じることができます。

しかし、流通の発達、生産技術の進歩で、お店に行けばほとんどの食材は、年中いつでも手に入るようになりました。それでも旬にいただく食材はやはり違います。

例えば、その食材が大量に出回る時期が旬にあたりますので価格も安価になります。栄養価は高くなり、冬が旬の法蓮草は、冬に採れたものと夏に採れたものを比べるとビタミンCが3倍にもなりますし、産卵前が旬にあたる魚は脂がのって美味しく、青魚はDHAやIPAも豊富になります。

また、冬野菜のカブは体を温めるといわれ、白菜や大根等はビタミンCが豊富で風邪予防によいとされる食材です。

そして、夏野菜の代表格であるトマトや胡瓜、茄子などは水分が多く、暑さで火照った体を冷やしてくれます。四季折々の体に優しい旬の食材を美味しくいただき、季節を感じながら健康に過ごせますように。

(参考資料；七訂食品成分表 2017 女子栄養大学・現代実用辞典第二版講談社)

(管理栄養士 吉崎郁子)

平成 29 年度決算報告

平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日

資金収支計算書		
事業活動による収支	収入	213,099,605
	支出	171,768,003
事業活動資金収支差額		41,331,602
施設整備等による収支	収入	111,697
	支出	14,134,842
施設整備等資金収支差額		△14,023,145
その他の活動による収支	収入	1,155,883
	支出	8,419,802
その他の活動資金収支差額		△ 7,263,919
当期資金収支差額合計		20,044,538
前期末支払資金残高		163,563,512
当期末支払資金残高		183,608,050

事業活動計算書		
サービス活動増減の部	収益	212,306,488
	費用	180,687,152
サービス活動増減差額		31,619,336
サービス活動外増減の部	収益	793,117
	費用	1,127,872
サービス活動外増減差額		△ 334,755
経常増減差額		31,284,581
特別増減の部	収益	245,000
	費用	1,894,742
特別増減差額		△ 1,649,742
当期活動増減差額		29,634,839
次期繰越活動増減差額		243,208,622

貸借対照表	
資産の部	
流動資産	192,183,795
固定資産	286,473,986
基本財産	225,324,222
その他固定資産	61,149,764
資産の部合計	478,657,781

負債の部	
流動負債	13,900,433
固定負債	31,910,863
負債の部合計	45,811,296

純資産の部	
基本金	41,112,994
国庫補助金等特別積立金	115,524,869
その他の積立金	33,000,000
次期繰越活動増減差額	243,208,622
純資産の部合計	432,846,485

負債及び純資産の部合計	478,657,781
-------------	-------------

お礼 (順不同) 平成 30 年 1 月～5 月

○ぼれぼれ家族会 様
○西村 茂 様 ○小橋 弘正 様 ○藤原 和子 様 ○皆木 照夫 様
○山下 行道 様 ○白神 久栄 様 ○尾方かおる 様 ○本原 孝也 様
○原 景子 様 ○藤原 敬子 様

お心遣いありがとうございました。

第三者委員会

平成 30 年 2 月 13 日 (火) に平成 29 年度第三者委員会を開催いたしました。満足度調査の結果と苦情について報告をし、第三者委員の方より貴重なご意見を頂きました。今後も更に支援の向上に努め、利用者の方により良いサービスを提供していきたいと思います。(サービス向上委員 小倉裕美)

平成 29 年度苦情受付報告

事業所	支援関係	個人の嗜好について	財産関係	その他	受付合計	解決	保留
和気本場	1	0	0	0	1	1	0
表町	0	0	0	0	0	0	0

理事会・評議員会報告

6月2日に理事会、6月16日に評議員会を開催いたしました。

評議員退任 坪井八十八 様
評議員就任 内倉実 様 (旧監事)
監事就任 片山保男 様

退任されました方には、長年にわたり施設に対し、ご理解、ご協力を賜り感謝申し上げます。
就任していただきました方には、これからも施設の発展にお力添えをよろしくお願いいたします。(事務長代理 黒原千晶)

行事予定

7 月 9 日 障害者スポーツ大会 : 10 月・11 月 施設旅行
7 月 19・20 日 健康診断 : 11 月 10 日 理事会
9 月 29 日 焼肉大会 : 12 月 22 日 忘年会
10 月 8 日 家族会奉仕活動 : 1 月 健康診断

入所者

3 月 30 日 浅井陽介 様 5 月 11 日 米田博好 様
5 月 16 日 國光哲也 様

表町分場

4 月 1 日 小柴中観 様

どうぞよろしくお願い致します。

退所者

2 月 28 日 神谷勝之 様
新天地でも頑張ってください。

退職職員

生活支援員 奇峰衿菜 (平成 30 年 3 月 16 日付)
生活支援員 吉田亜矢子 (平成 30 年 3 月 31 日付)
生活支援員 角南 愛 (平成 30 年 4 月 20 日付)

お世話になりました。

編集後記

西日の強さが一段と増してきました。事務室で仕事をしていますと、食堂で食事をされている声、運動場や棟内で活動をしている声、たくさんの利用者の声が聞こえてきます。この声を聞くと安心し、あまり声が聞こえない時には少し寂しくも思えます。ぼれぼれの活動や取り組みが少しでも伝わる『ぼれぼれの友』に出来上がっていることを願いつつ、作成にあたり、ご協力下さった皆様方に感謝申し上げます。

(広報委員 吉崎郁子)